

公益社団法人愛知県医師会 第34回(定例)理事会議事録

開催日時：平成29年2月23日(木) 午後2時30分～午後4時35分

開催場所：愛知県医師会館4階理事会議室

出席者

副会長(代表理事)／横井 隆 城 義政
理事／吉田 貴 伊藤健一 加藤雅通 大輪芳裕 西山 朗
榎尾富二 樋口俊寛 伊藤富士子 瀬瀬雅明 野田正治
林 義久 羽生田正行 浅井清和
監事／可世木成明 川上雅正 野口良樹
代議員会議長／伊藤宣夫
代議員会副議長／杉田洋一 山本 楯

欠席者

会長(代表理事)／柵木充明
副会長(代表理事)／市川朝洋
理事／細川秀一 森 孝生

議事録作成者 加藤結花

※柵木会長欠席のため、横井副会長が議事を行った。

議長は、定款第39条第2項により、柵木会長が務めるところであるが欠席のため、横井 隆副会長(代表理事)が代理で務める。

本日の理事会は、出席者21名(うち理事15名)で、理事現在数19名の2分の1以上(10名)の出席があり、定款第39条第6項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

議 事

—承認事項—

1. 庶務関係事項について

(1) 後援並びに共催について

① 一般社団法人稲沢市医師会(会長 大島宏之)主催の日医認定産業医研修会[4/12(水)]
の共催について

② がん就労を考える会(代表世話人・愛知県がんセンター中央病院副院長 岩田広治)

主催の「第3回がん就労を考える会」〔6/18(日)〕の日医認定産業医研修会の指定申請並びに共催について

③独立行政法人労働者健康安全機構愛知産業保健総合支援センター(所長 山本 楯)主催の日医認定産業医研修会の共催について

榎尾理事より説明され、1-(1)-①～③について一括承認を求め、承認された。

(2)愛知県後期高齢者医療移送費審査嘱託医師の推薦について

榎尾理事より説明され、本会の樋口理事に代わり、林理事を推薦することが承認された。

委嘱期間は、平成29年4月1日～平成30年3月31日までの1年間。

—協議事項—

2. 第178回(臨時)代議員会 決議文(案)〔3/18(土)〕について

大輪理事より、従来は消費税問題、医療供給体制の問題について盛り込んでいるが、消費税については毎回提出しており、また、停滞していることを鑑み、今回は盛り込まないこととしたと説明された。

方向性が見えない、現状と危機感が示されていない等、内容、文言等について様々な意見が出され、横井副会長より、次回、第35回(定例)理事会で協議し、3月16日開催の、第36回(定例)理事会で最終決定することとし、継続審議となった。

3. その他

- ・第138回(臨時)代議員会報告書・議案書について

—報告事項—

【日本医師会、各医師会、中部医師会連合等会議について】

1. 日医第2回医業税制検討委員会〔2/15(水)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

大輪理事より、平成29年度税制要望活動において、消費税問題について財務省は全く理解を示さず進展しなかったと報告された。厚労省医政局医業経営支援課佐藤課長より、医業継続に係る相続税・贈与税の納税猶予等の特例措置の延長等については、今回の医療法の改正により、認定医療法人の役員数、親族要件、医療計画への記載等の要件を緩和し、贈与税の非課税対象が大幅に拡大すると説明された。

また、持分なし医療法人への移行については、認定要件が緩くなるとの見方もあるが、移行後、3年間の当該要件を維持していることの確認であったものが、6年間に延長となる等厳しくなるとの見方もあり、医政局内でも認識の相違があると説明された。

2. 日医産業保健委員会〔2/17(金)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

西山理事より、産業医制度の在り方に関する検討会の報告では、産業医制度の見直しの大きな変更点として、産業医による職場巡視の頻度が挙げられた。従来は月1回以上実施するよう定められていたが、長時間労働者に関する情報、労働者の業務内容に関する情報等を、事業者が産業医に提供するという付帯条件下では、2ヶ月に1回の実施で可となったと説明された。労働安全衛生法の一部改正の中には、産業医による職場巡視の頻度も含まれている。また、産業医研修並びに実習科目の一部改正については、健康管理に係る研修科目の範囲に「治療と職業生活の両支援」加えることが明確化した。その他、産業医活動並びにストレスチェック制度に関するアンケート調査、医療機関における産業保健活動に関するアンケート調査を実施する予定であると説明された。

3. 平成28年度第5回日本医師会医療秘書認定試験委員会〔2/17(金)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

樋口理事より、第37回日本医師会医療秘書認定試験の合否判定、結果分析評価報告書の検討を行ったと報告された。

今回の試験問題100題の内、6題が適正に欠けると判断され、試験問題から抜くこととなった。94題で合否判定を行ったことにより、合格者数は前年度と同レベルとなったと説明された。

4. 日医女性医師支援事業連絡協議会〔2/17(金)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

伊藤(富)理事より、6ブロックからの発表があり、その後の質疑応答で、医療界

初のイクボス宣言を行った秋田県医師会に質問が多く集まったと報告された。また、女性医師バンクの新たな取り組み「都道府県医師会ドクターバンクとのネットワーク構築」が発表されたと説明された。

これは、都道府県医師会ドクターバンクと、日本医師会女性医師バンクで、求人・求職情報の共有を図っていくというシステムである。

伊藤(健)理事より、良い取り組みであると思うが不明瞭な点多々見られると発言された。

5. 日医学校保健委員会 [2/17(金)] について

(日本医師会主催：日本医師会館)

瀨瀬理事より、文科省が行った児童生徒の健康診断の実施状況調査の結果について報告された。マニュアルに示されている項目を削除し、独自に作成している学校もみられた。また、健康診断に要した時間は、昨年より増えたとする学校が7割を超えたと説明された。その後、中間報告ではあるが、日医が実施した学校医の現状に関するアンケート調査について検討し、今後の解析について意見交換がなされたと説明された。また、本年度の学校保健講習会の日程、若年者心疾患協議会について、文科省パブリックコメントへの参加、横倉会長が文科省の中央教育審議会委員に選出されたことなどを報告された。

6. 日医第1回警察活動等への協力業務検討委員会 [2/15(水)] について

(日本医師会主催：日本医師会館)

大輪理事より、前回まではプロジェクトとして開催していたが、今回から日医の委員会として開催されることとなり、細川理事が委員として出席されたと説明された。

委員長を選任後、今期委員会の進め方等について検討されたと報告された。

7. 第28回日本医師会主催「指導医のための教育ワークショップ」 [2/4(土)・5(日)] について

(日本医師会主催：晴海グランドホテル)

林理事より、「研修医へのカリキュラム立案」をテーマに、1泊2日の合宿形式にて標記ワークショップが開催され、修了者には、「医師の臨床研修に係る指導医講習会の開催指針(平成16年3月18日付け医政発第0318008号)に基づく、日本医師会長、厚生労働省医政局長連名の修了証書が授与されたと報告された。

なお、参加者の大半は、40代前半～50代であった。

【本会関係会議について】

8. 調査室委員会 [2/14(火)] について

(5階医師連盟会議室)

大輪理事より、決議文の内容について議論した結果、委員会中に出た意見を元に推

敲し、本日の理事会に提出することとなったと報告された。その他、MEDIFAX、twitter 記事について解説、意見交換を行ったと説明された。

9. 広報委員会 [2/8(水)] について

(501 会議室)

瀨瀨理事より、愛知医報のトップ掲載予定や表紙掲載写真等についての検討及び企業より掲載依頼された広告等の掲載可否について検討し、すべて掲載することとしたと報告された。また、会員からの投稿原稿内容について確認し、1名掲載とし、1名一部内容を依頼することとしたと説明された。

10. 第50回若年者心疾患・生活習慣病対策協議会総会 第2回実行委員会 [2/14(火)] について

(6階研修室)

瀨瀨理事より、学校保健健診懇談会、学校保健シンポジウムを組み入れたプログラム内容について検討したと報告された。

11. 小児在宅医療推進企画委員会 [2/19(日)] について

(5階医師連盟会議室)

野田理事より、昨年12月18日に大同病院で開催した「あいち小児在宅医療実技講習会」について、水野副委員長より報告がなされたと説明され、当日の参加者アンケート結果および経費内訳に沿って報告された。次年度の方針については、大同病院で行われていた医師向け研修を、11月頃に本会館で開催する予定であり、医療従事者向け研修は、訪問看護ステーションを中心に尾張・三河地区で開催することです承された。具体的な日程や研修内容などは、次回以降に検討することとなったと説明された。

12. 講演会・研修会等について

横井副会長より、下記No.1の2/15(水)に開催された健康教育講座について、説明を求められ、No.2~3の本会主催の講習会・研修会等については一括報告とすると発言された。

瀨瀨理事より、会場が狭いということで、敢えて宣伝をしなかったこと、また、健康教育講座対象者年齢のテーマから外れていたことが要因であったと説明された。

No.	開催日	名称	出席者数等	担当理事
1	2/9(木)	健康教育講座(9階大講堂)	385名	瀨瀨理事
	2/15(水)	健康教育講座(第2セントレアビル)	9名	吉田理事
2	2/14(火)	平成28年度 日本医師会認定健康スポーツ医学再研修会	70名	浅井理事 森理事

No.	開催日	名称	出席者数等	担当理事
3	2/19(日)	平成28年度日本医師会死体検案研修会(上級)後期	31名	大輪理事 細川理事

【行政、その他関係団体等会議について】

1 3. 第4回愛知県医療審議会医療法人許認可部会〔2/17(金)〕について

(愛知県主催：愛知県自治センター)

城副会長より、法人設立申請は、医科16件、歯科6件あり、いずれも問題なく認可となったと報告された。平成29年1月31日現在、医科の法人は、社団法人1,667施設、財団法人8施設である。平成28年度の法人設立は、今回を除き33件、解散10件であったと説明された。

1 4. 支払基金幹事会〔2/8(水)〕について

(支払基金主催：支払基金)

城副会長より、原審査の状況、再審査査定割合の時系列推移、請求レセ1件当たりの請求点数、請求レセに占める原審査査定件数、原審査返戻割合、請求レセ1件当たりの原審査査定点数、全国と愛知支部の状況について、資料に沿って説明された。

1 5. 愛知県薬事審議会〔2/15(水)〕について

(愛知県主催：愛知県議会議事堂)

吉田理事より、医薬分業については数値目標を迫りかけるのではなく、薬局のあるべき姿に向けた別の対応を取るべきだという意見が多かったと報告された。医療救護活動の統括を行う災害医療コーディネーターの補佐として、薬剤師の派遣、医薬品の調整等を担う愛知県災害薬事コーディネーターを3名委嘱し、実効性についての質問と、名古屋市と愛知県では薬剤備蓄の方式が異なることについて議論されたと説明された。その他、あいち健康の森薬草園の運営状況、大麻栽培者免許の現状、ハーボニー配合錠の偽薬についての説明議論があったと報告された。

伊藤(健)理事より、備蓄保管倉庫の設置場所等の問題点について質問され、吉田理事より、既存倉庫以外にも、津波等の影響を受けない場所にも数多増設しているため、問題はないであろうと応えられた。

野田理事より、チェーン薬局の薬剤師会入会について情報提供をされた。

1 6. 第2回愛知県介護予防推進会議〔2/16(木)〕について

(愛知県主催：愛知県自治センター)

林理事より、28年度事業の進捗状況について報告され、訪問型、通所型サービスについても参入意向事業所が少なく、人員の確保も困難であり住民主体による支援が進まないと説明された。また、介護予防支援センターの取り組みは終了し、4月から54市町村の介護予防生活支援サービスが始まると説明された。

17. 第2回愛知県認知症施策推進会議〔2/16(木)〕について

(愛知県主催：愛知県自治センター)

林理事より、28年度の取り組み状況について、認知症初期集中支援チーム、認知症カフェ等の家族介護者支援、徘徊捜索ネットワーク等の徘徊高齢者の捜索に関する研究やその成果を普及するための研修、講演会を実施し、市町村支援を推進してきたと報告された。その他、若年性認知症総合支援センターを10月に開所し、医療、介護、福祉のみならず就労の支援も開始したと説明された。

【その他事項について】

18. その他

- ・館内 Wi-Fi の導入について

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

平成29年2月23日